

プログラム委員会担当 小西会員卓話

2018年9月(78.7歳)を迎えて

平成30年9月12日(水)

○；1940年2月2日：岡山市内の常慶寺という禅寺で生を受ける。この年は1920年東京RCが発足してから第二次世界大戦の波に洗われて国際ロータリーから脱退した年でもあります。(1949年3月に復帰。)

○；1942年12月；父33歳で亡(自分は満2才)；原因は8歳から本山に修行に行き、当時は、食生活もお粥、たくあん、味噌汁、(食塩一杯)魚肉は無し！のひもじさと共に兄弟子が先に食べた後の米粒の殆ど無い食管理で子供には厳しさがあったことと思います。(たくあんを食べるとき音を出さない食べ方があり仏事の時に坊さんにも聞いても教えてくれませんでした。が胃への負担は大！！)

1年に1度か2度の里帰りをすると、馬鹿食いをしていた為、胃腸を痛め、胃潰瘍から今風で言えば、癌だったのでは？と思います。

○；食生活の管理は大切です

今は父の時代の環境とは異なり飽食の時代。しかし、腹八分は大切な健康管理であると思います。

○；お寺に住むことは出来ませんので、祖父が兵庫県警の刑事をしていたこともあり、神戸市須磨区月見山(山電、月見山駅の傍)に母親と居候をしました。

○；1939年；第二次世界大戦の始まり

○；1941年12月；真珠湾攻撃で太平洋戦争に突入

○；1945年8月；広島、長崎に原子爆弾投下で降伏～終結。

戦死者数=230万人、民間人死者数=80万人 当時の状況は戦争が激しくなり、神戸にも毎日容赦のない空襲、機銃掃射や焼夷弾による焼死者は増加の一途！須磨浦小学校のグラウンドに真っ黒になってまだ動いている人達の中から母親の知人を探しに付いて行ったけどみんな真っ黒に焼けていて分からない。(でも動いている)この光景は今でも脳裏に焼き付いています！また、グラマン機による機銃掃射を受け防空壕の中に駆け込み助かった！そして同年に岡山県牛窓に近い祖父の出身地(竹久夢二の生家の近く)に疎開をしました。田舎やから、食べる事には不自由しないだろうと思っていたけど地獄でした。牛や豚でも食べないサツマイモの葉っぱと茎、麦ばかりの雑炊でした。タンパク質、炭水化物の満足な摂取など考えられないことでした。農地改革で



小西 文孝 会員



プログラム委員会
村上 則宏 委員長



本日の食事

—ビーフカレー(100万ドルメニュー)—

何とか田と畑が3反ほど還った。農地で生計を立てなければ生きて行けない。食べて行くだけの正に苦しい水飲み百姓でした。

一番のご馳走は年に2回飼っている鶏をつぶしてのすき焼きと麦ごはん！魚は川魚を獲って食べました（今のような公害は皆無）。お金が無い苦しさ。父親が居ない経済的な厳しさは身に染みしました。

当然のことながら大学進学など考えられませんでした。

- ；1956年（昭和31年）～3年間；岡山県立岡山工業高等学校土木工学科に片道24キロ往復48キロの自転車通学で200分間、自転車に乗っていた時間になります。（3年間で自転車は壊れました。）
- ；1958年（昭和33年）；㈱吉田組入社初任給6500円3年後池田勇人総理になり所得倍増計画で13000円をもらいました。戦後の復興期が徐々に芽生えてきた時代の始まりで独り身の気楽さで岡山～鳥取、神戸、等の現場を転々と楽しみました。当時は今のような機械は無く人力が主な時代で土方連中と一緒に汗を流しました。
- ；1967年（昭和42年）；ゼネコンを退社して加古川の不動産会社に、設計と工事を担当することで就職をしました。大阪、神戸のベッドタウンとして宅地が飛ぶように売れた時代でした。
- ；1971年（昭和46年）；先輩と一緒に設計会社を設立。この時から志方会員、伊藤会員さん栗原元会員、西野勝さんを始め皆さんにご縁を頂き大変お世話になり今も友情が続いています。
- ；1980年（昭和55年）；個人で測量、設計の真似事から起業してミツヤ設計㈱を立ち上げ1983年に兄貴以上のお付き合いを頂いている中谷さんを始め、京谷会員さん達の素晴らしい先輩方からRC入会の機会を頂き今日に至っております。加古川に住み、会社も加古川にあるのに何故青松RCに入会させていただいたのか？矢張り高砂の皆さんとのご縁が深かったのだと思います。会社を立ち上げて38年が過ぎようとしています。その間時代の変遷を色々経験をさせて頂きました。会社の存亡に関わる危機もありました。そんな時にもいろいろ助けて頂いた会員の皆さん方には感謝の言葉以外ありません。有難うございました。

1967年（昭和42年）から加古川でお世話になった当時の加古川市の人口は約10万人足らずでした。今は26万強になっております。

先輩会員さんに、自分は外様意識があり、ある面はお付き合いが出来るけど、祭りや他の行事に参加することがどうしても億劫で苦手になる話をしました。先輩は50年もこの地で生きて来たんやから外様では無い！故郷やと。

皆様に支えられて来年は79才になります。素晴らしいご縁を頂きました！

後暫くのご辛抱を頂きご厚誼を賜りますようお願いを申し上げまして、私の履歴書のような卓話になりましたがご寛容ください。

ご清聴ありがとうございました。

委員会報告 or その他連絡事項 et cetera

クラブ会報・広報・記録委員会 ◆三枝 丈次委員長

ロータリーの友 9月号の紹介



ニコニコ報告

Donation

大橋 卓司

本日は小西会長の卓話、とても楽しみにしています。先日の“加古川楽市”でのポリオ募金活動、矢野ロータリー財団委員長、櫻井副幹事、青柳幹事、お疲れ様でした。

小西 文孝

本日、貴重なお時間を頂きまして卓話をさせて頂きます。

中谷 利幸・志方 正昭・櫻井 宣孝
吉川 弘・内海 薫・村上 則宏
田中 浩行・澤田 孝彦・青柳 淳生
増田 耕太郎・庄司 武・川崎 一生
藤本 明久・佐野 栄作

小西会員の卓話楽しみにしております。

矢野 聡

結婚記念日の御祝ありがとうございました。

柿木 國夫・阪本 徹也・伊藤 勝之 井野 隆弘・嶋谷 拓雄

早退致します。小西さんの卓話楽しみにしておりますが残念です。申し訳ありません。



幹事報告

Secretary

幹事報告 第10回（通算1784回）

1. 地区より
 - (1) 公共イメージ向上のための広報誌 ROTARY 世界と日本の見本が届いています。回覧します。
 - (2) 地区のMYロータリー登録が40%を超え、目標50%をクリアしたクラブ24クラブとなりました。
2. ロータリー財団より
財団室 NEWS9月号が、届いています。
映画『しあわせの呼吸』9/7より上映 場所：シネ・リーブル神戸B1
3. 兵庫県立美術館より
「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」のポスター・チラシ設置のお願いが届いております。
4. 高砂RC、加古川平成RC、加古川中央RC、加古川RCより
例会変更のお知らせが届いております。回覧します。
5. 幹事より
 - (1) ホームクラブ10月10日は、休会（定款第8条1節c）とします。
 - (2) クールビズは9月末で終了です。
 - (3) 来週は、高砂RCとの合同例会で、場所は鹿島殿となっておりますのでお間違えのないようお願いします。



例会記録 2018.9.12（水） 通算1899回

ソング	「奉仕の理想」「四つのテスト」		
出席報告	8月29日	会員数43名 欠席者11名 (この内出席免除者10名)	出席率 71.79% (修正による)
	9月12日	会員数43名 欠席者9名 (この内出席免除者10名)	実出席者数 31名 出席率 77.50%



今日は、先週の例会で社会奉仕委員会の田中伸明委員長がご報告された“発達障害”講演会の続きをお話しさせていただきます。

竹田先生が帰りの車の中で今回の講演会について、田中伸明社会奉仕委員長に、「ロータリーが企画立案し、教育委員会とコラボする形で教育委員会が実施、運営している今回の事業は、ロータリーの本質です。事業として素晴らしかったことを、ガバナーに報告しておきます」とおっしゃっていたとのことでした。



講演会も5年目を迎え、教育委員会サイドでは、今回、広報「たかさご」への掲載もそうですが、この講演会について出席者からアンケート調査も初めて実施されるなど、毎年工夫を重ねてられています。

出席約350名中、166通のアンケートが回収され、その中から、抜粋して皆様のお手元に配布させていただきました。どれも「参加していた良かった」等の良いものばかり抜き出しているかのように、ほとんど全ての感想がこの様な内容で書かれています。この“感想”を集約すると、4つのポイントにまとめられます。

- ① “発達障害”について具体的な事例を示され、とても分かり易かった。
- ② 自分のクラスの子供の顔が浮かんだ、思い浮かべた。
- ③ 2学期からの指導に生かしたい。
- ④ また聞きたい、来年も聞きたい、是非やってほしい。



今回のアンケート結果に見られる様に、竹田先生は出席された方々、特に、保・幼・小中を問わず、先生たちの心に火をつけていただいたと思います。

“心に火をつける”と言えば、名言で有名な、星稜高校野球部の山下智茂名誉監督の言葉を思い出しました。毎年高野連主催で行われている、「甲子園塾」、これは野球の若手指導者の育成を目的に実施されており、ある年の閉講式で、山下監督は、アメリカ出身の教育学者の言葉で参加者を送り出しました。

その言葉とは、

「良い先生とはかみ砕いて教える。優れた先生は考えさせる。偉大な先生は心に火をつける。」

いずれにしても今回の講演会を通じて、参加された先生方の心に火が付き、その結果子供たち一人一人に少しでも、手が差し伸べられる、あるいは寄り添われるような地域社会になることを願って会長の時間を終わらせていただきます。

◆ プログラム予定 ◆

9月 21日 (金)	合同例会 (ホスト：高砂 R.C.) 9月 19日分	
9月 26日 (水)	卓話 西中 亮二会員	幕の内弁当
10月 3日 (水)	クラブアッセンブリー ガバナー補佐訪問	
10月 10日 (水)	休会	

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 大橋 卓司 幹事 青柳 淳 クラブ会報・広報・記録委員長 三枝 丈次

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町 1104 電話 (079) 443-0500